

流れの  
先に

# 港での生活に欠かせない給水 (大阪港にて)

第1回

大阪港は、波静かな大阪湾の中心に位置し、気象・海象条件が良いため、古くから良好な港湾として発展してきており、現在では、年間約8700万トンの貨物を扱い、世界約130の国と地域を結んで、人口約2100万人の近畿圏の経済活動や市民生活を支える、わが国有数の国際平和貿易港となっています。

その日本屈指の貿易港である、大阪港で、船上や島での生活を支える「給水」が日々行われていることについて紹介させていただきます。

## 1 船への給水

### (1) 直接給水（岸壁から船へ給水する）

給水の方法には、直接給水と言われる岸壁からの給水と、運搬給水と言われる船から船や島などへの給水がありますが、クルーズ船などが寄港する際には岸壁からの直接給水が行われます。

その給水に携わっておられるのが、大阪市港湾局から委託を受けた有限会社コスモ商運さんで、今



有限会社コスモ商運の射場本さんと横手さん（右から）



給水前に水質の点検を行います

回、同社専務取締役の荒石さんのご案内で、同社の射場本さん、横手さんが直接給水を行われる様子を見学させていただきました。

その日は、大阪港の天保山客船ターミナルに、クルーズ船が海外から入港しました。

乗客が大阪や京都・奈良などの観光・買い物から船に戻り、出港するまでの間に、給水等を済ませておく必要があります。

射場本さん他のみなさまが、船が着岸するまでに岸壁にある給水栓にホースやメーターをつなぐなど準備を整えておき、船の着岸後に船から延ばされたホース（ジョイント部分の規格が異なる場合があります、今回もそのための対応を行った後）とジョイントして、給水を開始されました。

ホースは直径が65ミリで、2本のホースで給水します。1時間で約100トン（家庭用のお風呂1杯分が200リットルだとすると・・・なんと500杯分！）が給水されるとのことですが、今回のクルーズ船は800トンの給水を行いますので、約8時間かけての作業になるとのことでした。



岸壁と船のホースをジョイント

なお、給水開始後、船内での水の使用状況により、船から給水を一旦ストップするよう連絡があるため、必ず現場で待機して即応体制を整えているとのことです。



水道栓を開けて給水開始

また、給水依頼の連絡は、クルーズ船に限りませんが、当日になって急に来たりするため、いつも体制を整え、臨機に対応されているとのことでした。

## (2) おいしい水

クルーズ船には、海水を水に変える装置が備え付けられており、一度、荒石さんもその水を飲んだことがあったそうですが、やはり、給水する水には、とてもかなわないと感じたそうです。

だからこそ、船上で必要となる飲み水、料理に使用される水、その他の生活用水は、給水する水になるのだと納得して、日々、給水に携わっているとのことでした。

また、大阪港の水は、高度浄水処理<sup>(※1)</sup>されており、「おいしい」ということが、海外の船にも知れわたってきているため、クルーズ船は大阪港で

給水することが増えてきているとのことでした。

## (3) 淀川の水が世界を旅する

その給水される水は、淀川の源流からはるばる大阪港まで届けられた水であり、その水が世界を旅することに、水をお届けしている一員である水資源機構職員の私は、ロマンを感じずにはいませんでした。

## (4) 豆知識

### 「水の自動販売機」

水（清水：せいすい）の自動販売機が港にあることをご存じでしたか？

大阪港には2つ清水自動販売機が設置されており、船にホースをつなぎ、お金を入れると、0.45立方メートルを200円で購入することができます。<sup>(※2)</sup>（直接給水の一部です。）。



自動販売機のコイン口は少し離れたところにあります

## 編集後記

今回の取材に当たり、有限会社コスモ商運のみなさまには、お忙しい中、大変お世話になりました。この場をお借りして、お礼申し上げます。誠にありがとうございました。

（関西・吉野川支社淀川本部）

## 【出典等】

(※1) 大阪市は全ての浄水場に高度浄水処理を導入し、平成12年3月より市内全域に高度浄水処理水を届けておられます。（大阪市は政令指定都市で初めて全量高度浄水処理を導入）大阪市には3つの浄水場があり、それぞれで高度浄水処理が行われています。

柴島浄水場(大阪市東淀川区:平成10年3月通水)、庭窪浄水場(守口市:平成11年3月通水)、豊野浄水場(寝屋川市:平成12年3月通水)

「大阪市水道局 HP」より引用

(※2)「大阪港案内 2014/2015」大阪市港湾局 より引用